

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2018年11月7日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2019年3月期 上期 決算 概要

FUJIFILM

2019年3月期上期決算のポイント

**期首計画に対し、営業利益が順調に進捗
前年同期比では、売上は横ばいも、利益は大幅増益**

事業別 業績 (前年同期比)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 売上 低採算のローエンドプリンタービジネスを縮小させたことなどによりドキュメント事業が減収となるも、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、ディスプレイ材料事業、電子材料事業が伸長
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 営業利益 メディカルシステム事業、ディスプレイ材料事業、電子材料事業などが増益、ドキュメント事業が大幅増益
特記 事項 (2Q)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ドキュメント事業の構造改革は順調に進捗 ✓ 1,000億円の自己株式取得を開始し、222億円分(9月末)を取得 ✓ 富士フイルム富山化学を設立、新薬開発を加速

2019年3月期 上期 業績 (2018年4月~9月)

(単位：億円)

	上期				
	修正後 2018年3月期	2019年3月期	対修正後 2018年3月期	為替影響	為替影響除く
売上高	11,879 100.0%	11,727 100.0%	-152 -1.3%	-41	-111 -0.9%
営業利益	723 6.1%	839 7.2%	116 +16.0%	-5	121 +16.7%
税金等調整前 四半期純利益	1,002 8.4%	988 8.4%	-14 -1.3%	-18	4 +0.4%
当社株主帰属 四半期純利益	709 6.0%	655 5.6%	-54 -7.6%	-12	-42 -5.9%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	161.92円	152.43円	-9.49円		
為替 : 米ドル	111円	110円	1円高		
: ユーロ	126円	130円	4円安		

<その他増減要因 (対前年度)> 営業利益における原材料価格影響：-14億円

※米国会計基準の変更に伴い、期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示区分の変更を遡及適用しています。

3

セグメント別 連結売上高/営業利益

(単位：億円)

売上高	上期		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2018年 3月期	2019年 3月期			
イメージング	1,748	1,759	11 (+0.6%)	-4	15 (+0.8%)
ヘルスケア	2,008	2,234	226 (+11.3%)	-10	236 (+11.8%)
ヘルスケア&マテリアルズ	4,808	4,990	182 (+3.8%)	-11	193 (+4.0%)
ドキュメント	5,323	4,978	-345 (-6.5%)	-26	-319 (-6.0%)
合計	11,879	11,727	-152 (-1.3%)	-41	-111 (-0.9%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	上期		対前年度	為替影響	為替影響除く
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期			
イメージング	238	216	-22 (-9.1%)	1	-23 (-9.8%)
ヘルスケア	12	24	12 (+90.5%)	-4	16 (+121.7%)
ヘルスケア&マテリアルズ	371	375	4 (+1.0%)	-7	11 (+2.9%)
ドキュメント	266	433	167 (+63.0%)	1	166 (+62.6%)
全社/連結調整	-152	-185	-33 -	0	-33 -
合計	723	839	116 (+16.0%)	-5	121 (+16.7%)

4

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

売上高		対前年度		営業利益		対前年度	
1,759	11	(+0.6%)	216	-22	(-9.1%)		

(単位: 億円)

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が好調に推移。2018年5月に発売したインスタントカメラ「instax SQUARE SQ6」のスクエアフォーマットが、SNSに慣れ親しんだ若い世代に好評。
- ・ チェキの上期販売台数は350万台。
- ・ 電子映像では、9月に「FUJIFILM X-T3」を発売。高速・高精度AFや高い動画性能が評価され、販売が好調。各種交換レンズの販売が堅調に推移。
- ・ 光学デバイスでは、各種産業用レンズの販売が堅調に推移。世界最高46倍ズームの4Kレンズの発売を発表するなど、拡大する4K映像制作ニーズに対応する製品ラインアップを強化し、シェアの拡大を図る。

売上は、各事業で販売が堅調に推移し増加
営業利益は、販促・宣伝費や研究開発費の投入で減少

5

セグメント別 概況

■ ヘルスケア&マテリアルズ
ソリューション

売上高		対前年度		営業利益		対前年度	
4,990	182	(+3.8%)	375	4	(+1.0%)		

(単位: 億円)

- ・ ヘルスケアで、メディカルシステムはX線画像診断や内視鏡などを中心に販売が好調に推移。医薬品は、抗インフルエンザウイルス薬「アピガン錠」を国家備蓄として供給。新薬開発を加速させるため、2018年10月に富士フィルム富山化学を設立。バイオCDMOは、設備増強がバイオ医薬品の開発・製造受託増に寄与。
- ・ 高機能材料で、ディスプレイ材料はタック製品の販売が堅調に推移したことに加え、タッチパネル分野、有機EL分野の製品販売が好調に推移。電子材料はフォトレジストやフォトリソ周辺材料の先端製品を中心に販売が好調に推移し、売上が増加。
- ・ 記録メディアの売上は減少。今後、「BaFe磁性体」等独自技術を利用した磁気テープを拡販していく。グラフィックシステムは、製版・刷版材料の総需要減により売上は減少。インクジェット事業はインクおよび産業用インクジェットヘッドの販売が堅調に推移。

メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、
ディスプレイ材料事業、電子材料事業などが増収をけん引
営業利益は、各事業の収益性改善により増加

6

セグメント別 概況

(単位：億円)

■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度		営業利益	対前年度	
4,978	-345	(-6.5%)	433	167	(+63.0%)

- ・ オフィスプロダクト分野では、全体の販売台数は減少したが、中国市場向けに開発した複合機の販売が堅調に推移。
オフィスプリンター分野では、低採算のローエンドプリンタービジネスを縮小。
- ・ プロダクションサービスは、低中速機を中心に販売台数が減少したが、高速・高画質のカラー・オンデマンド・パブリッシング機の販売が欧米を中心に好調に推移。
- ・ ソリューション&サービスは、業種・業務別ソリューションの販売やBPO契約による売上が堅調に推移したが、仕入れ商品に対する売上の計上方法を変更した影響により、全体の売上は対前年で減少。

低採算のプリンタービジネスを縮小させたことなどにより減収となったが、中国での販売やソリューション&サービスビジネスは堅調に推移
収益性の改善や構造改革の効果により大幅増益

7

連結貸借対照表

(単位：億円)

	17年 3月期末	18年 3月期末	19年3月期 9月末	対18年 3月期末		17年 3月期末	18年 3月期末	19年3月期 9月末	対18年 3月期末
現金 及び現金同等物	8,760	7,682	6,006	-1,676	長短社債 及び借入金	5,588	4,542	4,510	-32
受取債権	6,358	6,191	5,858	-333	支払債務	2,579	2,485	2,412	-73
棚卸資産	3,392	3,613	4,037	424	その他流動 固定負債	4,484	4,915	4,209	-706
その他流動資産	1,838	1,122	1,009	-113	負債計	12,651	11,942	11,131	-811
流動資産計	20,348	18,608	16,910	-1,698	株主資本計	20,436	20,791	20,842	51
有形固定資産	5,206	5,375	5,307	-68	非支配持分	2,245	2,196	2,019	-177
営業権	4,998	5,916	6,627	711	純資産計	22,681	22,987	22,861	-126
投資有価証券 その他資産	4,780	5,030	5,148	118	負債・純資産 合計	35,332	34,929	33,992	-937
固定資産計	14,984	16,321	17,082	761					
資産合計	35,332	34,929	33,992	-937					

(単位：円)

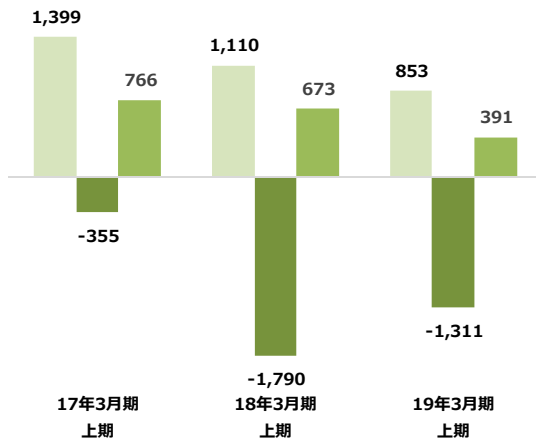
期末日 為替レート	17年 3月期末	18年 3月期末	19年3月期 9月末	対18年 3月期末
米ドル	112	106	114	8円安
ユーロ	120	131	132	1円安

8

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）

（単位：億円）



（単位：億円）

	17年3月期 上期	18年3月期 上期	19年3月期 上期
四半期純利益	416	775	742
減価償却費	590	616	632
受取債権の増(-)減(+)	502	456	387
棚卸資産の増(-)減(+)	-92	-278	-352
営業債務の増(+)-減(-)	-75	-285	-81
その他	58	-174	-475
営業活動によるC F	1,399	1,110	853
設備投資	-393	-306	-298
ソフトウェアの購入	-106	-96	-101
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	291	-96	-6
事業買収	-13	-1,257	-843
その他	-134	-35	-63
投資活動によるC F	-355	-1,790	-1,311
フリー・キャッシュ・フロー	1,044	-680	-458
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー※	766	673	391

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収および有価証券・投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

富士ゼロックスにおける構造改革

富士ゼロックスにおける構造改革

構造改革は順調に進捗、上期で85億円の効果を実現
新たな成長領域において事業基盤を確立

	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画	2020年3月期 計画
構造改革費用等一時費用	700億円(通期)	250億円	60億円
効果(対2017年3月期)	-	270億円	550億円

2019年3月期	1Q実績	2Q実績	上期実績	通期計画
構造改革費用等 一時費用	33億円	18億円	51億円	250億円
効果 (対2017年3月期)	10億円	75億円	85億円	270億円

2019年3月期 連結業績予想 (2018年11月7日時点)

(単位：億円)

	修正後 2018年3月期	2019年3月期 (前回予想)	2019年3月期	対前回予想	対前年度
売上高	24,334 100%	25,100 100%	24,700 100%	-400 -1.6%	366 +1.5%
一時費用除く 営業利益	1,933	2,250	2,250	0	317
構造改革費用等 一時費用	-700	-250	-250	0	450
営業利益	1,233 5.1%	2,000 8.0%	2,000 8.1%	0 0.0%	767 +62.2%
税金等調整前 当期純利益	1,978 8.1%	2,050 8.2%	2,050 8.3%	0 0.0%	72 +3.6%
当社株主帰属 当期純利益	1,407 5.8%	1,300 5.2%	1,300 5.3%	0 0.0%	-107 -7.6%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	322.62円	302.16円	305.31円	3.15円	-17.31円
ROE	6.8%	6.2%	6.2%	0.0%	-0.6%
為替 : 米ドル	111円	110円	110円	-	1円高
: ユーロ	130円	130円	130円	-	-
銀価格 (/kg)	61,000円	62,000円	59,000円	-3,000円	-2,000円

対前回予想
為替影響売上高 -150
営業利益 -40* 2019年3月期
営業利益為替感応度
米ドル：8億円
ユーロ：8億円

13

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」



当社の多岐にわたる事業領域や挑戦し続ける企業姿勢を広く伝えるため、
グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」を
日本と米国で10月より開始。今後、欧州、中国、東南アジアでも、展開予定。

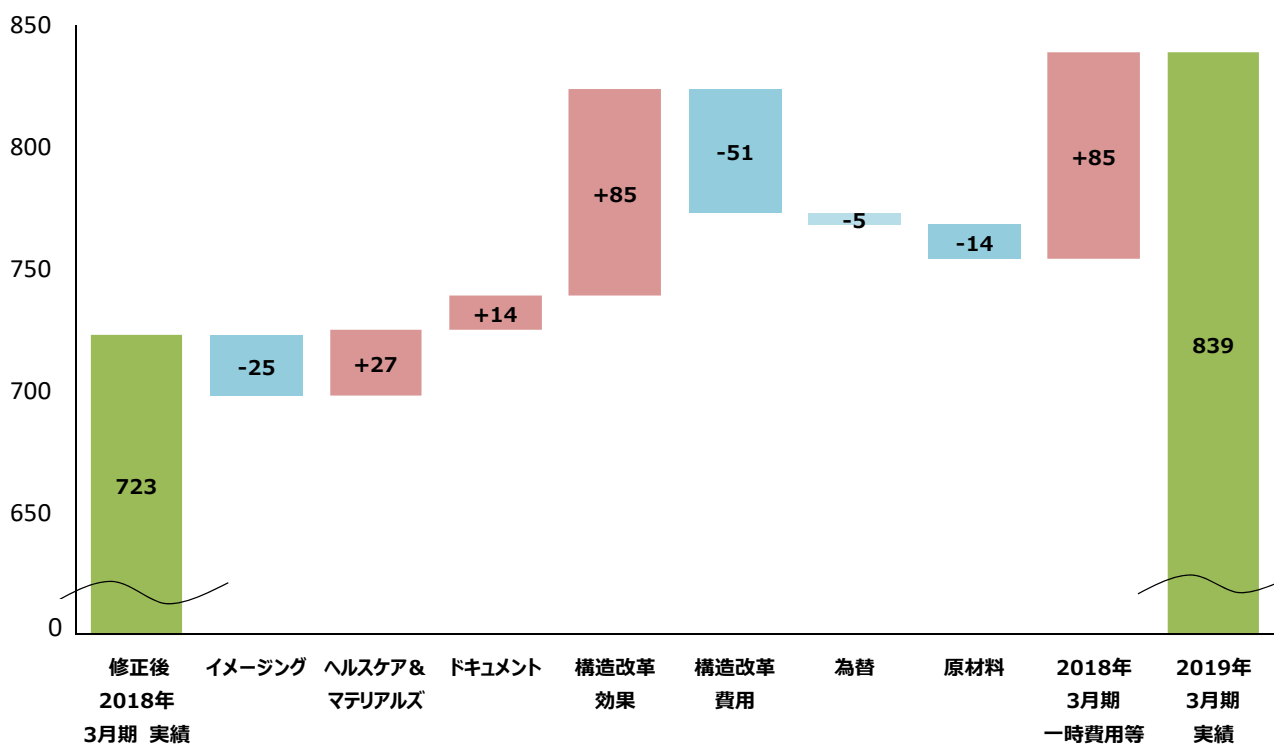
14

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

参考資料

2019年3月期 第2四半期 決算説明会 参考資料

営業利益増減分析(対前年上期実績)



2Q/上期 業績

(単位：億円)

	2Q			上期		
	修正後 2018年3月期	2019年3月期	対修正後 2018年3月期	修正後 2018年3月期	2019年3月期	対修正後 2018年3月期
売上高	6,164 100.0%	6,078 100.0%	-86 -1.4%	11,879 100.0%	11,727 100.0%	-152 -1.3%
営業利益	382 6.2%	470 7.7%	88 +23.0%	723 6.1%	839 7.2%	116 +16.0%
税金等調整前 四半期純利益	426 6.9%	530 8.7%	104 +24.7%	1,002 8.4%	988 8.4%	-14 -1.3%
当社株主帰属 四半期純利益	271 4.4%	372 6.1%	101 +37.2%	709 6.0%	655 5.6%	-54 -7.6%
為替 : 米ドル	111円	111円	-	111円	110円	1円高
: ユーロ	130円	130円	-	126円	130円	4円安

<その他増減要因 (2Q/上期 対前年度) > 営業利益 原材料 : -7億円 / -14億円

17

2Q/上期 業績

(単位：億円)

売上高	2Q			上期		
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度
イメージング	898	880	-18 (-2.1%)	1,748	1,759	11 (+0.6%)
ヘルスケア	1,095	1,216	121 (+11.2%)	2,008	2,234	226 (+11.3%)
ヘルスケア&マテリアルズ	2,508	2,631	123 (+4.9%)	4,808	4,990	182 (+3.8%)
ドキュメント	2,758	2,567	-191 (-6.9%)	5,323	4,978	-345 (-6.5%)
合計	6,164	6,078	-86 (-1.4%)	11,879	11,727	-152 (-1.3%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q			上期		
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度
イメージング	113 [12.5%]	94 [10.7%]	-19 (-16.8%)	238 [13.5%]	216 [12.2%]	-22 (-9.1%)
ヘルスケア	24 [2.2%]	16 [1.3%]	-8 (-33.3%)	12 [0.6%]	24 [1.1%]	12 (+90.5%)
ヘルスケア&マテリアルズ	186 [7.4%]	194 [7.4%]	8 (+4.2%)	371 [7.7%]	375 [7.5%]	4 (+1.0%)
ドキュメント	162 [5.8%]	284 [11.0%]	122 (+75.5%)	266 [5.0%]	433 [8.6%]	167 (+63.0%)
全社/連結調整	-79	-102	-23	-152	-185	-33
合計	382 [6.2%]	470 [7.7%]	88 (+23.0%)	723 [6.1%]	839 [7.2%]	116 (+16.0%)

18

2Q(3ヶ月) セグメント別 ハイライト

イメージング ソリューション

- ・ フォトイメージングでは、インスタントカメラ「チェキ」とチェキフィルムのインスタントフォトシステムの販売が好調に推移。
- ・ 電子映像では、9月に「FUJIFILM X-T3」の販売を開始。高速・高精度AFや、高い動画性能が評価され、販売が好調。

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

- ・ ヘルスケアで、メディカルシステムは、X線画像診断や超音波を中心に販売が好調に推移。医薬品では、抗インフルエンザウイルス薬「アビガン錠」を国家備蓄として供給。バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託が好調に推移。再生医療では、名古屋市立大学との共同研究によりヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞の開発に成功。
- ・ 高性能材料で、ディスプレイ材料は、タック製品に加えタッチパネル関連、有機EL関連などの新規分野で販売が伸長。産業機材は、「エクスクリア」の販売が好調。電子材料は先端フォトリソ周辺材料の販売が好調に推移し、売上が増加。

ドキュメント ソリューション

- ・ 売上高は、中国での販売やソリューション&サービス事業が堅調に推移したものの、低採算のプリンタービジネスを縮小させたことや仕入れ商品に対する売上の計上方法の変更などにより減収。新たな価値提供戦略「Smart work Innovation」のもと、独自のAI技術を活用し、業務効率化や生産性向上を支援するサービスを順次提供。
- ・ 営業利益は、構造改革の効果などにより大幅増益。

19

2Q/上期 業績

イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	2Q					上期						
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度		為替影響除く	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度		為替影響除く		
フォトイメージング	586	571	-15	(-2.6%)	-9	(-1.6%)	1,124	1,129	5	(+0.4%)	9	(+0.8%)
電子映像	214	213	-1	(-0.3%)	2	(+1.3%)	437	441	4	(+1.0%)	4	(+1.1%)
光学デバイス	98	96	-2	(-3.0%)	-1	(-2.6%)	187	189	2	(+0.8%)	2	(+0.7%)
光学・電子映像	312	309	-3	(-1.1%)	1	(+0.1%)	624	630	6	(+0.9%)	6	(+1.0%)
合計	898	880	-18	(-2.1%)	-8	(-1.0%)	1,748	1,759	11	(+0.6%)	15	(+0.8%)

*セグメント間取引消去後

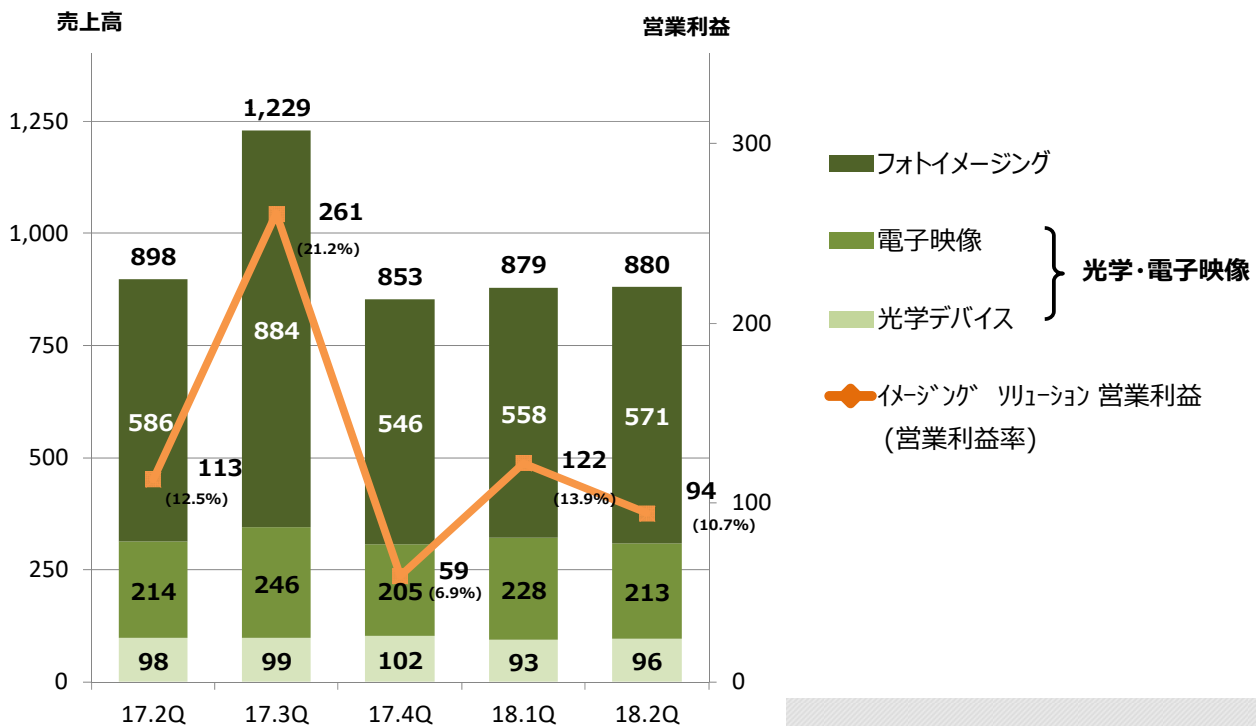
(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q					上期						
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度		為替影響除く	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度		為替影響除く		
イメージング	113 [12.5%]	94 [10.7%]	-19	(-16.8%)	-12	(-10.6%)	238 [13.5%]	216 [12.2%]	-22	(-9.1%)	-23	(-9.8%)

20

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション (単位：億円)



2Q/上期 業績

■ ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	1,095	1,216	121 (+11.2%)	131 (+12.1%)	2,008	2,234	226 (+11.3%)	236 (+11.8%)
ディスプレイ材料	227	277	50 (+22.3%)	50 (+22.3%)	470	507	37 (+7.9%)	37 (+7.9%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	429	441	12 (+2.9%)	9 (+2.2%)	850	877	27 (+3.1%)	26 (+3.1%)
高機能材料	656	718	62 (+9.6%)	59 (+9.2%)	1,320	1,384	64 (+4.8%)	63 (+4.8%)
記録メディア	105	87	-18 (-17.7%)	-18 (-17.6%)	221	180	-41 (-18.5%)	-40 (-18.0%)
グラフィックシステム/インクジェット	650	607	-43 (-6.8%)	-39 (-6.2%)	1,256	1,186	-70 (-5.6%)	-69 (-5.5%)
その他	2	3	1	1	3	6	3	3
合計	2,508	2,631	123 (+4.9%)	134 (+5.4%)	4,808	4,990	182 (+3.8%)	193 (+4.0%)

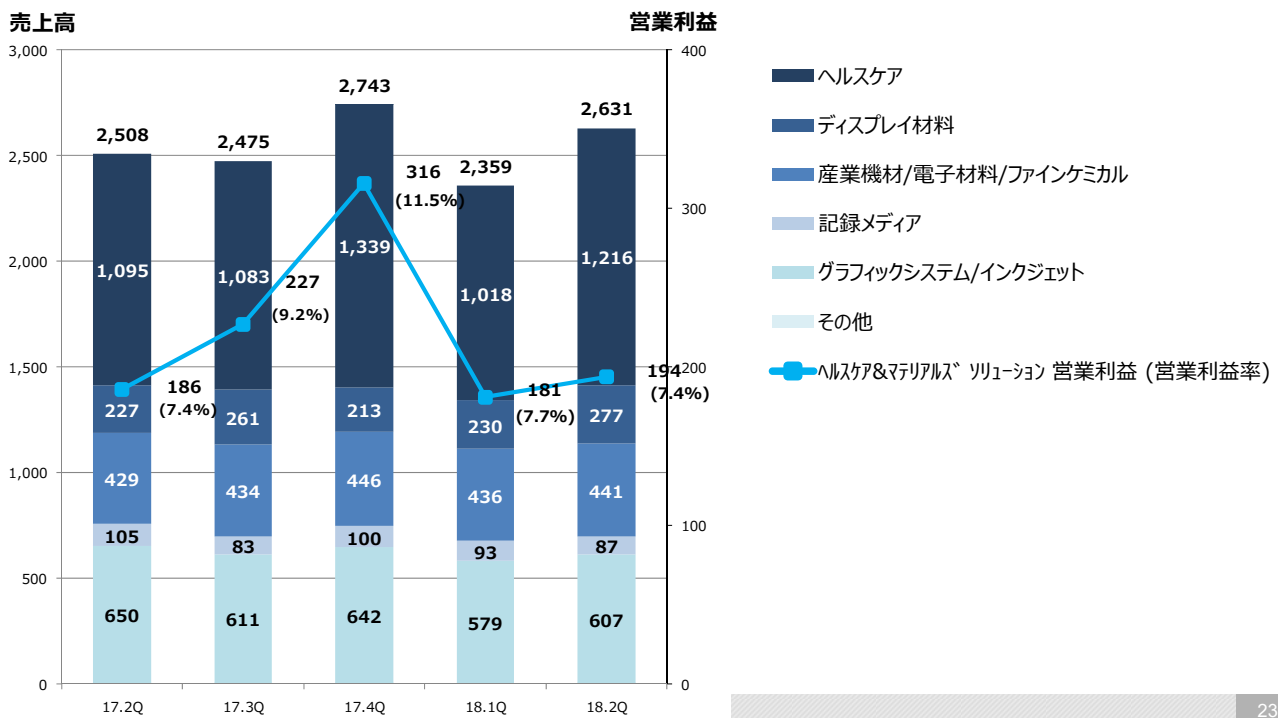
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 【営業利益率】	2Q				上期			
	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	24 [2.2%]	16 [1.3%]	-8 (-33.3%)	-1 (-4.2%)	12 [0.6%]	24 [1.1%]	12 (+90.5%)	16 (+121.7%)
ヘルスケア&マテリアルズ	186 [7.4%]	194 [7.4%]	8 (+4.2%)	16 (+8.6%)	371 [7.7%]	375 [7.5%]	4 (+1.0%)	11 (+2.9%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション (単位：億円)



2Q/上期 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)

売上高	2Q				上期			
	2018年3月期	2019年3月期	対前年度	為替影響除く	2018年3月期	2019年3月期	対前年度	為替影響除く
オフィスプリンター	389	326	-63 (-16.0%)	-60 (-15.3%)	777	627	-150 (-19.3%)	-144 (-18.5%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,583	1,466	-117 (-7.4%)	-107 (-6.8%)	3,104	2,863	-241 (-7.8%)	-228 (-7.3%)
プロダクションサービス	352	324	-28 (-7.7%)	-26 (-6.9%)	672	616	-56 (-8.3%)	-54 (-7.9%)
ソリューション&サービス	689	664	-25 (-3.5%)	-18 (-2.6%)	1,285	1,243	-42 (-3.2%)	-33 (-2.5%)
その他	134	113	-21	-19	262	256	-6	-4
合計	2,758	2,567	-191 (-6.9%)	-170 (-6.2%)	5,323	4,978	-345 (-6.5%)	-319 (-6.0%)

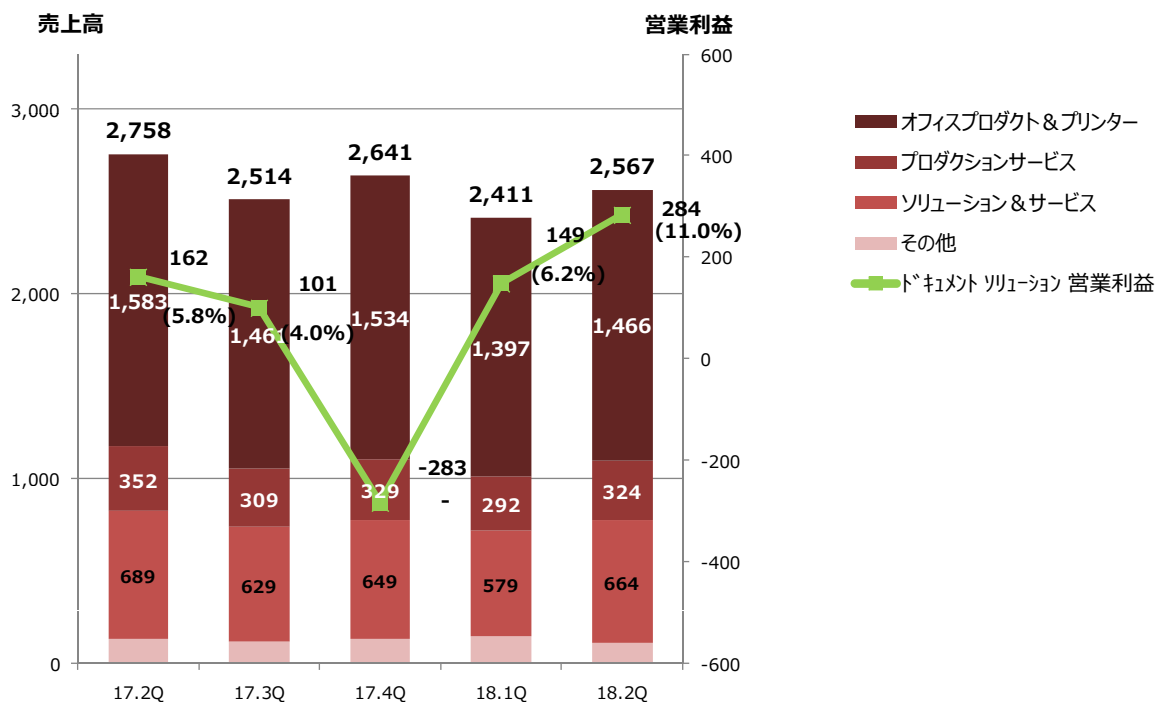
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	2Q				上期			
	修正後2018年3月期	2019年3月期	対前年度	為替影響除く	修正後2018年3月期	2019年3月期	対前年度	為替影響除く
ドキュメント	162 [5.8%]	284 [11.0%]	122 (+75.5%)	132 (+81.7%)	266 [5.0%]	433 [8.6%]	167 (+63.0%)	166 (+62.6%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション (単位: 億円)



25

国内・海外別連結売上高

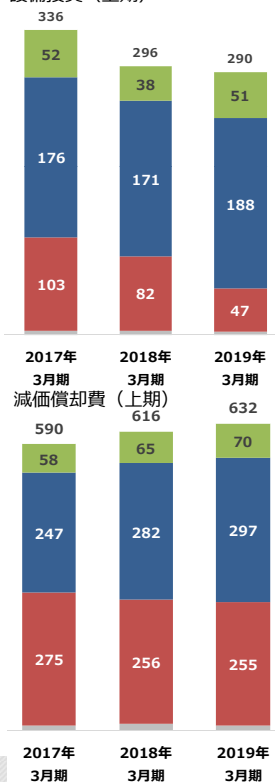
(単位: 億円)

	2018年3月期 上期		2019年3月期 上期		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	41.2%	4,895	41.0%	4,808	-87	(-1.8%)
米州	19.4%	2,300	18.8%	2,200	-100	(-4.3%)
欧州	12.1%	1,444	12.8%	1,504	60	(+4.1%)
内、中国	12.2%	1,450	12.7%	1,494	44	(+3.1%)
アジア他	27.3%	3,240	27.4%	3,215	-25	(-0.8%)
海外	58.8%	6,984	59.0%	6,919	-65	(-0.9%)
合計	100.0%	11,879	100.0%	11,727	-152	(-1.3%)

26

設備投資、減価償却費

設備投資（上期）



(単位：億円)

年度	2Q			上期			通期		
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期(予想)
イメーシング	31	21	21	52	38	51	103	94	
ヘルスケア&マテリアルズ	80	96	115	176	171	188	401	427	
ドキュメント	60	39	27	103	82	47	200	138	
コーポレート	4	3	3	5	5	4	14	16	
設備投資 ※	175	159	166	336	296	290	718	675	800
イメーシング	29	32	36	58	65	70	111	133	
ヘルスケア&マテリアルズ	121	142	154	247	282	297	491	575	
ドキュメント	130	128	125	275	256	255	553	547	
コーポレート	5	7	4	10	13	10	21	21	
減価償却費	285	309	319	590	616	632	1,176	1,276	1,190
有形固定資産の減価償却費 ※	147	166	167	289	328	334	589	665	

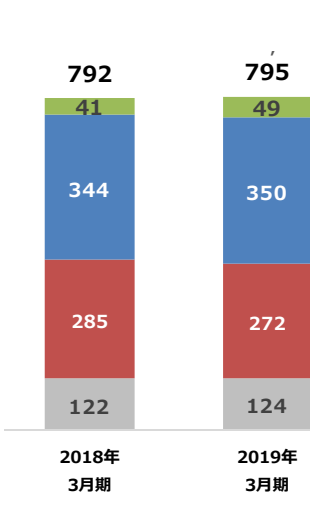
※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費（上期）

(単位：億円)



年度	2Q		上期		通期	
	2018年3月期	2019年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2018年3月期	2019年3月期(予想)
イメーシング	24	24	41	49	90	
ヘルスケア&マテリアルズ	185	172	344	350	700	
ドキュメント	144	134	285	272	635	
コーポレート	63	64	122	124	254	
研究開発費	416	394	792	795	1,679	1,610
<売上高比>	6.7%	6.5%	6.7%	6.8%	6.9%	6.5%
販売費及び一般管理費	1,624	1,648	3,215	3,235	6,778	
<売上高比>	26.4%	27.1%	27.0%	27.5%	27.9%	

- イメーシングソリューション
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

為替、原材料価格、人員

為替

(単位：円)

	2018年3月期					2019年3月期				
	1Q	2Q	上期	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期(予想)	通期(予想)
米ドル	111	111	111	111	111	109	111	110	110	110
ユーロ	122	130	126	133	130	130	130	130	130	130

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2018年3月期					2019年3月期				
	1Q	2Q	上期	下期	通期	1Q	2Q	上期	下期(予想)	通期(予想)
銀	63	60	62	60	61	58	54	57	62	59

人員

(単位：人)

	2017.9末	2017.12末	2018.3末	2018.6末	2018.9末
連結	80,315	80,067	77,739	77,060	75,329

29

会計基準変更に伴う2018年3月期営業利益の修正

(単位：億円)

営業利益	修正前 2018年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
イメージング	126	113	261	60	560
ヘルスケア	-8	27	55	133	207
ヘルスケア&マテリアルズ	189	191	232	316	928
ドキュメント	117	174	114	-265	140
全社/連結調整	-74	-77	-80	-90	-321
合計	358	401	527	21	1,307

(単位：億円)

営業利益	修正後 2018年3月期									
	1Q	差異	2Q	差異	3Q	差異	4Q	差異	通期	差異
イメージング	125	-1	113	0	261	0	59	-1	558	-2
ヘルスケア	-12	-4	24	-3	52	-3	133	0	197	-10
ヘルスケア&マテリアルズ	185	-4	186	-5	227	-5	316	0	914	-14
ドキュメント	104	-13	162	-12	101	-13	-283	-18	84	-56
全社/連結調整	-73	1	-79	-2	-80	0	-91	-1	-323	-2
合計	341	-17	382	-19	509	-18	1	-20	1,233	-74

30

2019年3月期 セグメント別業績予想 (2018年11月7日時点)

(単位: 億円)

売上高	2018年 3月期	2019年 3月期 (前回予想)	2019年 3月期	対 前回予想	内	対前年度
					為替影響	
イメージング	3,830	4,000	4,000	0	-30	170 (+4.4%)
ヘルスケア	4,430	4,750	4,850	100	-30	420 (+9.5%)
マテリアルズ	5,596	5,850	5,750	-100	-20	154 (+2.8%)
ヘルスケア&マテリアルズ	10,026	10,600	10,600	0	-50	574 (+5.7%)
ドキュメント	10,478	10,500	10,100	-400	-70	-378 (-3.6%)
合計	24,334	25,100	24,700	-400	-150	366 (+1.5%)

*セグメント間取引消去後

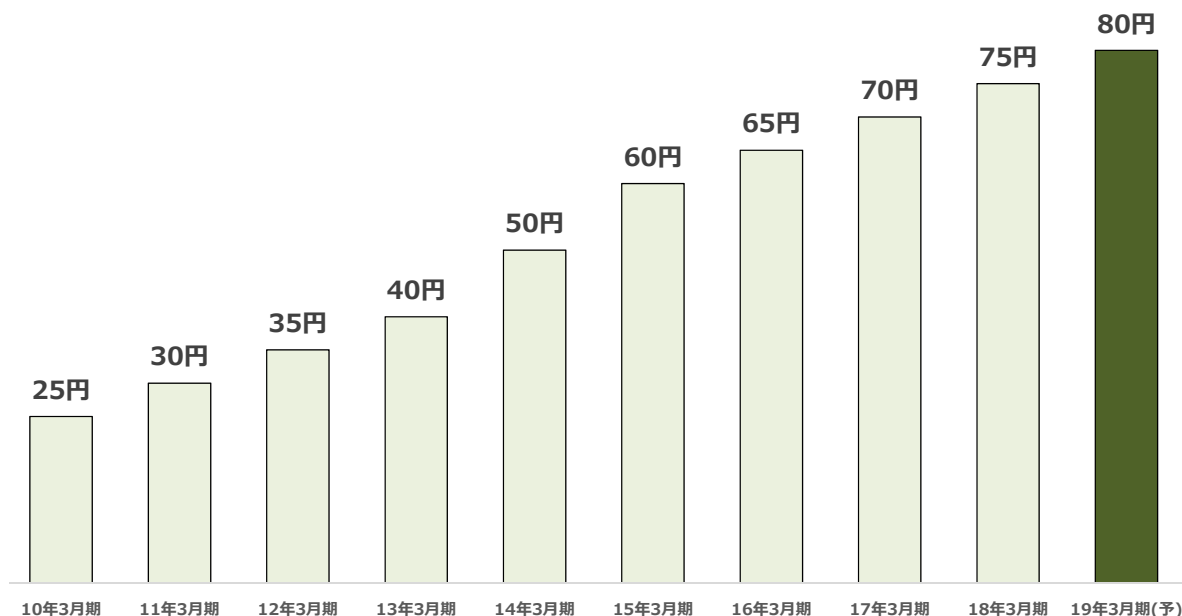
営業利益	修正後 2018年 3月期	2019年 3月期 (前回予想)	2019年 3月期	対 前回予想	内	対前年度
					為替影響	
イメージング	558	600	600	0	-10	42 (+7.5%)
ヘルスケア	197	210	230	20	-15	33 (+16.8%)
マテリアルズ	717	700	700	0	-5	-17 (-2.4%)
ヘルスケア&マテリアルズ	914	910	930	20	-20	16 (+1.8%)
一時費用除く営業利益	784	1,070	1,070	0	-10	286 (+36.5%)
構造改革費用等一時費用	-700	-250	-250	0	0	450 -
ドキュメント	84	820	820	0	-10	736 (9.8倍)
全社/連結調整	-323	-330	-350	-20	0	-27
合計	1,233	2,000	2,000	0	-40	767 (+62.2%)

31

株主還元

■ 配当金

2019年3月期の配当金は、9期連続増配となる対前年5円増配の80円/株を予定



32

パイプライン (2018年11月7日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬	経口	日本	承認済み
			米国	Ph III
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	Ph III
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
			米国	Ph II
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph I
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリポソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクス (FKB) のFKB327 (アタリムマブバイオシミラー) は、2018/9欧州での承認を取得。
FKBとアストラゼネカ社のJVのFKB238 (ペバシズマブバイオシミラー) は、米国、欧州、その他でPh III実施中。
※「ITK-1 (去勢抵抗性前立腺がん治療薬)」は、開発を中止致しました。

33

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フィルムホールディングス 統合報告書2018

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_library/integrated_reports/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- 2016年 12月 医薬品・再生医療事業説明会
- 2017年 3月 エレクトロニクスマテリアルズ (EM) 事業説明会
- 2018年 3月 イメージングソリューション事業説明会

富士フィルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://brand.fujifilm.com/neverstop/jp>

34

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>